

第3回定例議会報告



金子卓

農業を壊し、暮らし・主権を脅かす亡国の協定

TPP

今国会での批准を許さない!

政府・与党は、TPP協定案・関連法案を強行しようとしています。しかし、交渉経過資料は「黒塗り」にされ、輸入米価格偽装問題の解明もされていないなど、国会審議の前提を欠いたままの審議となっています。

「TPPは『成長戦略』の柱」と安倍首相は言います。しかし、安倍政権の『成長戦略』で利益を得ているのはごく一部の大企業や富裕層です。TPPはそれをさらにひどくし、大多数の国民は暮らしを守るルールが弱められ、国の主権まで脅かされます。

百害あつて

一利なしのTPP

TPPは農業問題だけではなく、その影響はあらゆる分野に関わり、多国籍企業の利益拡大のじやまになる仕組みやルールは『非関税障壁』として撤廃されます。国民にとっては百害あつて一利なしです。

- 遺伝子組み換え食品の表示が危うくなり、食の安全が脅かされます。
- 医薬品の価格が高くなり、医療保険制度が危うくなります。
- 保険や共済の分野にアメリカ企業の参入を許し、支配されます。
- 外国の安い製品や労働力が入り、仕事や雇用が奪われます。
- 国内企業や自治体の仕事が多国籍企業に開放されます。

外国企業の内政干渉に道

外国企業が、進出先の政府などの政策で損害を被ったと判断すれば国際仲裁機関に訴え、損害賠償を請



議長選挙疑惑の徹底解明を

8月10日におこなわれた市議会臨時議会で、新議長に当選した川上博議員と副議長に当選した小森敏雄議員が支持依頼の議員宅訪問の際に品物を持参した疑いがあるとの発言が議会本会議で出されました。翌日の新聞各紙は「メロンが一部の議員に届けられた」と報じました。市議会は8月16日、「市議

議員倫理審査特別委員会」を設置し、疑惑の調査を始めました。特別委員会では、これまで11回開催し、この中で川上議員も洋菓子の持参を認めました。調査は現在も継続しておこなわれています。川上博議員と小森敏雄両議員の行為は公選法違反です。これまでも議長選にからんで金品の動きが噂されましたが、今回のように表

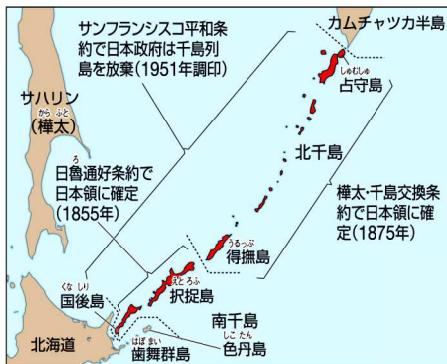
共産党は全力を尽くします

求できる——TPP協定にあるISD条項は、外国企業の投資利益を最大の基準とし、暮らしや環境を守るルールをねじ曲げ、国家主権をあからさまに侵害する仕組みです。参院選で、農村地帯である東北・甲信越の1人区で野党共同の候補が勝利したのも、TPPを推進し、農協・農政「改革」に突き進む安倍政権への不信、怒りの審判でもありました。日本共産党はこの6年間、ストップTPPのために国会内でも、地域でも、多くの農業・市民団体や他の野党と力をあわせてきました。最大の山場を迎えているなか批准阻止のために最後まで全力をつくします。

出たのは初めてです。このような悪しき慣習をなくし、清潔な市議会にするためには疑惑の徹底解明が必要です。日本共産党の金子卓議員は特別委員会の調査では限界があるので、倫理審査特別委員会を地方自治法第100条に基づく「1000条委員会」に移行するよう求めています。両議員は自ら辞職すべきです。



4島だけでなく全千島列島が日本の領土です



日本共産党の志位委員長は10月18日、日露領土問題に関する提言「日露領土交渉をどう打開する

日本共産党 携帯ページ

いま、おすすめしています

しんぶん赤旗

日刊●月3,497円／日曜版●月823円

第4回定例議会は 12月7日(水)開会です

請願・陳情は11月30日(水)まで。

か」を発表しました。

【提言の概要】

- 一、歯舞、色丹の「2島先行返還」はありうるのだが、その場合は、中間的な条約と結びつけて処理することとし、平和条約は、領土問題が最終的な解決にいたった段階で締結すべきである。
- 二、この60年間にわたって、日露領土問題が前進しなかったのは、「国後、択捉は千島列島にあらず。だから返還せよ」という日本政府の主張が、歴史的事実にてらしても、国際法的にも、通用しない主張だったことにある。このことを正面から認め、領土交渉の方針の抜本的な再検討をおこなうことが必要である。
- 三、日露領土問題の根本は、「領土不拡大」という第2次世界大戦の戦後処理の大原則を踏みにじって、「マルタ協定」で「千島列島の引渡し」を決め、それに拘束されてサンフランシスコ平和条約で「千島列島の放棄」を宣言したことにある。この戦後処理の不正にいまこそ正面からメスを入れるべきである。

日本共産党 常陸大宮市議会報告

2016年11月 第40号 発行/日本共産党常陸大宮市議

金子卓(常陸大宮市岩崎272-4)

☎ 0295(52)2422

一般質問

市議会のホームページで一般質問の録画が見られます



金子卓議員
9月14日に質問

東海第二原発
再稼働問題を質問

金子議員 東海第二原発は、1

8月30日に開会された第3回定例議会は最終日の9月20日、各常任委員会に付託された条例改正案と補正予算案、請願・陳情の審査結果、また新たに設置された予算決算常任委員会に付託された決算認定の審査結果が本会議で報告され、採決し閉会しました。

決算認定で日本共産党の金子卓議員は、平成27年度の一般会計決算に反対する討論の中で、「高い国民健康保険税が払えず、介護保険料も大幅に引き上げられました。57億円と膨大な金額に積み増ししている財政調整基金を使い、国保財政への繰り入れを増やし、また介護保険料の大幅引き上げなどなく、市民の暮らしを守るために使うべき」差し押さえ件数が毎年増加しています。悪質滞納者がこのよう

978年に営業運転を開始、今年11月で38年になる老朽原発です。

東日本大震災時、東海第二原発は、非常用ディーゼル発電機用の海水ポンプ電動機が水没し運転不能となり、危うく福島原発事故のような事態に追い込まれる危険な状態でした。大震災後、県民の再稼働反対・廃炉を求める運動は大きく広がり、再稼働反対の署名は30万人に達しました。

政府は福島第一原発事故を機会に、安全上の理由から原発の寿命を法制化しました。原則40年で、20年の延長を認め、最長60年

としました。日本原子力発電は再稼働の前提となる新規制基準の適合性審査の申請をしましたが、運転開始後38年になる東海第二原発の再稼働にあたっては、運転期間の延長の審査を受けなければなりません。

県議会で東海第二原発の再稼働問題が取りあげられ、その中で、東日本大震災前の3年間では19回だったマグニチュード5以上の地震回数は、震災後153回を数え、県内で発生する地震の状況が大きく変わっていることが指摘されました。今後30年以内に首都直下地震が発生する確率は70%とも言

議員定数検討特別委員会を設置

に増えるわけはありません。住民の生活実態をよく聞き、生活再建など親身に対応する相談・収納活動に転換すべきであり、県租税債権管理機構への徴収移管はやめるべきとのべました。

また、高い国保税の国民健康保険特別会計、介護保険料を大幅に引き上げた介護保険特別会計、簡易水道特別会計、戸別浄化槽整備特別会計、後期高齢者医療特別会計、高すぎる水道料金の上水道事業会計に反対しました。

今議会で提出された、「教育予算の拡充を求める請願」と「市道975号線早期全面開通に関する請願書」は全会一致で採択され、「教育予算の拡充を求める意見書」を内閣総理大臣ほか関係大臣に提出することを議決しました。

最終日、議会運営委員長から「議会議員定数検討特別委員会」設置の提案がありました。金子議員は提出者に、定数検討特別委員会の目的に「議会の議員定数に関する調査を実施し、検討をおこなう」とあるが、検討とは「定数削減ありき」なのかそれとも「議員定数はどうあるべきか」を検討することかと質問しました。議会運営委員長は「必ずしも定数削減ありきではない」と答えました。

仮に、再稼働が認められてしまつたら、年々老朽化がすすむ東海第二原発の過酷事故の不安を抱えたまま私たち市民はさらに20年間も暮らさなければなりません。今、再稼働問題は、このような状況の中にあります。

30キロ圏内に位置する常陸大宮市として、東海第二原発の再稼働中止を、国・県・原電に求めるべきです。市長の答弁を求めます。

市長答弁 東海第二原発の再稼働の条件として、新規制基準適合性審査の合格、延長認可、安全協定による茨城県と東海村の承認が必要となります。

今後、原子力規制委員会の新規制基準適合性審査に合格するか、そして運転延長の申請をおこなうかどうかについて注意深く見守りたいと思いますが、再稼働の条件がそろったときには運転開始から38年を超える原発であっても科学的・技術的な見地から安全であると判断されることから、最終的にその判断をもとに国の責任で再稼働すべきと考えています。

金子議員 再稼働を認めるといふことは、20年延長を認めることになり、30キロ圏内96万人の避難などできるわけがありません。再度、常陸大宮市として、東海第二原発の再稼働中止を国・県・原電に求めることを強く要請します。



仕事・くらしの悩み
お気軽に相談を
日本共産党
連絡先 ケータイ
金子すぐる議員
090-1994-7696

＜日本共産党県議団提供＞
平成28年9月12日 茨城県防災・危機管理課
マグニチュード5.0以上の地震回数
【東日本大震災以降】
期間：2011年3月11日～2016年9月11日
回数 全国：638回
内震央が茨城県：153回
【東日本大震災以前】
期間：2008年3月11日～2011年3月11日
回数 全国：317回
内震央が茨城県：19回

道の駅「常陸大宮」
4～6月収支を質問

金子議員 8月16日の市議会全員協議会では、3月から7月までの月別レジ通過者数と部門別売上金額が報告されただけでした。4半期（4～6月）の収入額とその主な内訳、支出額とその主な内訳を明らかにするよう求めます。

経済建設部長答弁 道の駅「かわプラザ」全体での4月期から6月期までの販売金額は、合計で約2億4477万円です。

運営管理会社「元気な郷づくり株式会社」の収支は、収入が合計で約1億4804万円、内訳は特産品販売部門が約7489万円、レストラン等フード部門が約6031万円、テナント料等が約850万円、その他指定管理料を含む収入が約434万円です。

支出は合計で約1億4074万円、内訳は仕入れ等の原材料費等が約8420万円、従業員給与等の人件費が約3474万円、その他電気料・広告宣伝費等の一般管理費が約2180万円です。

4～6月期までの営業利益は約730万円で、月平均にすると約243万円の黒字です。

※注 8月16日に報告された部門別売上金額（消費税込4月～6月計）
…農産物（テナント・JA常陸）約8421万円、特産品（直営）約7981万円、レストラン（直営）約1628万円、軽食（直営）約1190万円、軽食（テナント・瑞穂農場）約1439万円、店頭食品（直営）約2204万円、店頭ジェラード（直営）約1614万円。

その他の質問項目
■自衛隊適格者名簿提出について
■公民館制度のあり方について
■新しい文化財保存展示施設整備について

*金子議員の一般質問全文と答弁概要をまとめた冊子が必要な方、連絡ください。